

医療安全教育セミナー2013 春季

(日本語社会人教育プログラム)

リスクコミュニケーションとコーチングの実習 (第5回)

コミュニケーション・エラーを防ぐ能力開発

資料

期 間: 2013年4月13日(土)~14日(日)

会 場:

東京大学伊藤国際学術研究センターB2・謝恩ホール
〒177-0033 東京都文京区本郷7-3-1



主 催:

国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) head.offrice02@iarmm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

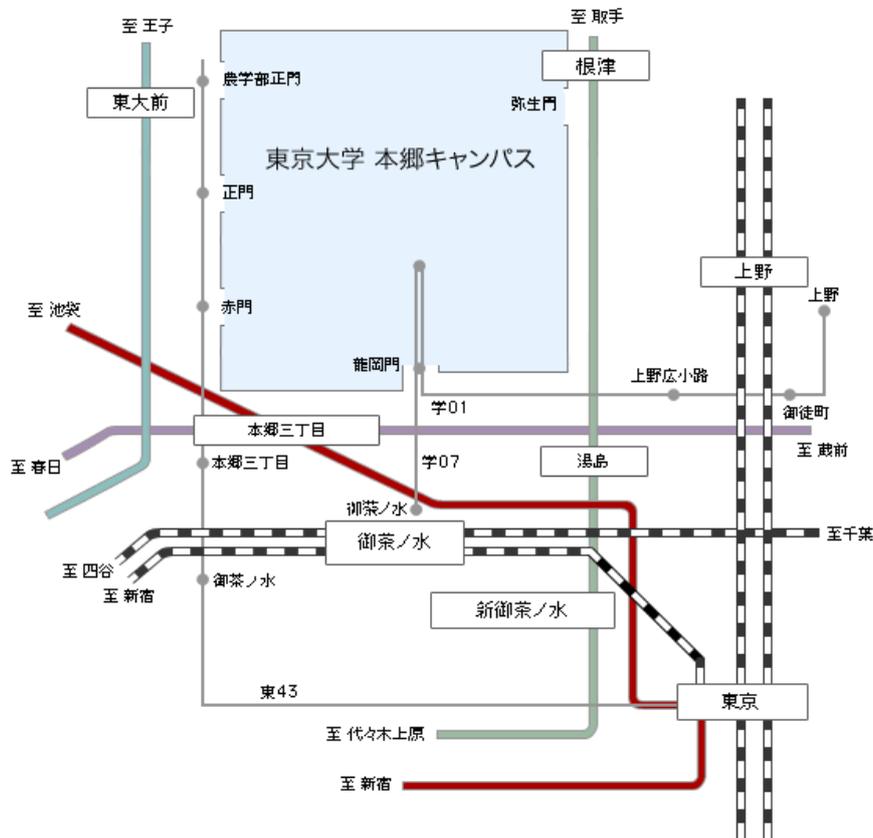
(参加者への注意)

- 1) 会場受付の開始時間: 2013年4月13日(土)午前8時50分
- 2) テキストおよび領収書は2013年4月13日(土)朝の会場受付でお取りください。
- 3) 受講修了証は4月14日午後4時30分以降に受付でお渡しします。
- 4) 試験は実施されません。
- 5) 多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者の迷惑になりますので遠慮ください。

(対象者) 学会員、医療施設経営者、医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者、学生、その他

本プログラムは、病院の安全対策として診療報酬を申請することができる「医療安全管理者・専従リスクマネージャーを対象とする安全教育プログラム」ではありません。

交通案内



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10分

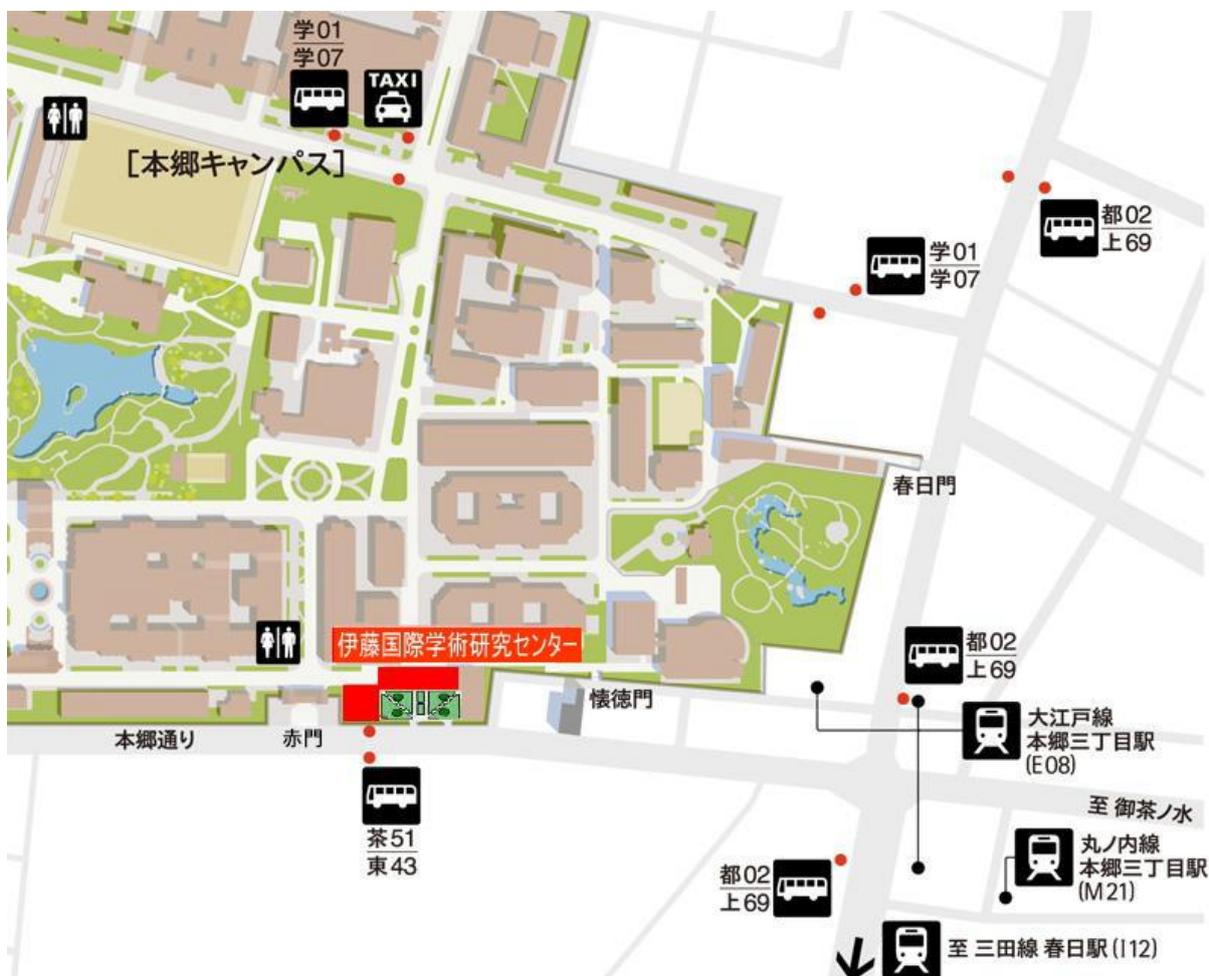
御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内

TEL 03-3812-2111(代表)

東京大学伊藤国際学術研究センター・地下2階
謝恩ホール・多目的スペース

東大赤門隣り



飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

東大安田講堂地下食堂

東大正門~本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。



プログラム

2013年4月13日(土) 午前9時30分～午後5時
(より高度な医療安全のためのコーチング技術)

受付開始 午前8時50分
午前9時50分 開 会

午前9時50分～午前10時 全体ガイダンス

午前10時～午前12時 講義
「医療におけるコーチングの活用 ～事例とエビデンス～」
出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野教授)

(概要) 個人へのコーチングおよびチームへのコーチングのあり方について、豊富な事例に基づいて講義されます。

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後4時 実習(1) 「コーチングのスキル」
指導担当: 出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野教授)

(概要) コーチングの構造を知り、基本的なスキルが使えるようになることを目標とします。

具体的には次の3つを習得します。

- 1) 傾聴
- 2) 戦略的質問
- 3) コーチングフロー

午後4時 1日目閉会

2013年4月14日(日) 午前10時～午後4時30分
(正確なコミュニケーション能力に向けて)

受付開始 午前9時30分

午前10時～午前12時 **講演**

「医療安全とコミュニケーション ～医療現場に求められる正確な伝達力～」

荒木 登茂子 (九州大学大学院医療経営・管理学講座 医療コミュニケーション分野教授)

(概要) 医療現場におけるリスクの根本原因の一つにコミュニケーションの問題がある。リスクの予防にはコミュニケーションの当事者である患者・医療従事者が一体となって「状況を的確に判断して伝達する」ことが求められる。

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後3時 **実習 (2)**

「医療現場でのリスクを軽減するコミュニケーション・スキルを学ぶ」

指導担当: 荒木 登茂子 (九州大学大学院医療経営・管理学講座 医療コミュニケーション分野教授)

目的: 医療現場でのリスクにつながるコミュニケーションの問題があった場面を取り上げ、問題点とその対策についてグループで討議する

課題: ①リスク場面におけるコミュニケーションの問題点の抽出

②潜在的な問題点を読み取る力を養う

③問題点を的確に伝え解決に導く力を養う 起・承・転・結や緊急時のコミュニケーション (SBAR) の実習

午後3時～午後3時10分 休憩

午後3時10分～午後4時30分 **実習 (3)**

「ロールプレイを用いた正確な伝達訓練～SBARやアサーションの活用」

指導担当: 荒木 登茂子 (九州大学大学院医療経営・管理学講座 医療コミュニケーション分野教授)

目的: 「自分が伝えたいと思った事柄」がどれだけ「伝達漏れや双方の主観的な思い込みなどで修飾されずに」そのまま相手に伝わっているかについて確認する方法を習得する。

午後4時30分 全体閉会